

第5回基本構想検討委員会において委員から出された主な意見等

1 開催理念、大会テーマについて

- 基本コンセプトのひとつに「木と共に生きる伝統文化の発展」があるが、工芸品という狭い範囲で捉えられるおそれがあるので「木と共に生きる伝統的な生活文化の発展と継承」という意味が出せればよい。例えば、町家保存の取組みにも関心が集まっているのでPRできればよい。
- 基本コンセプトの「活力ある里山・里海の再生」にある「里海」については、製塩やボラまちやぐらというより、森林を整備することで有機物が海に供給され、カキの養殖や沿岸漁業にとって豊かな漁場が形成されるという「物質の循環」をうまく表現すべきではないか。
- 森林を健全に保たなければ様々な悪影響が生じることをもう少し説明できればよい。例えば、人手が入らないことで人と野生獣とのバッファ機能がなくなり、クマの出没の増加を招いている。
- 「国産材、森林資源の利活用」というコンセプトで大会テーマのフレーズを検討するにあたって、なぜ国産材、森林資源を活用しなければならないか、物語性をもった説明を工夫してほしい。

2 記念事業等について

- 子供から大人、お年寄りまで、幅広く参加できるものがよい。小学校、保育園を対象に、木を使った教材や遊び道具を公募するような木工作イベントを工夫できれば、後々、森林を守ろうとか環境を大事にしようという心を育むことにもつながると思う。
- 前回の津幡町での全国植樹祭開催を記念して以後毎年行っている「県民みどりの祭典」について、今回の植樹祭以降どのように実施するのか、検討しておくことが必要。
- 山中地区は、漆器、重伝建、栢野大杉など、基本理念のコンセプトである森林資源の利活用や木材を利用した伝統文化の発展など、当てはまる部分が多く、林業後継者大会は、山中地区が有力な候補地になるのではないかな。
- 宿泊予定地として、資料には加賀4温泉（山代、山中、片山津、栗津）が記載されているが、式典会場からの距離を考えると、辰口温泉も入るのではないかな。
- 見学コースを例示して、林業関係者以外も参加したくなるようなメニューを考えた方がよい。一般県民にとって植林をするということは普通体験はしないので、ある一定期間で全県民に植林してもらうようなことができないかな。